

メータオ・クリニック支援の会(JAM)支援者の皆様

いつもご支援いただき誠にありがとうございます。

新年あけましておめでとうございます。新年に際して気持ちを新たにメータオ・クリニック支援活動に取り組んでいきたいと考えております。

支援者の皆様、本年もどうぞメータオ・クリニック支援の会(JAM)をよろしく願いいたします。

それでは今年初めての JAM 会報メール第4号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足された NGO です。

ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を会報メールにて毎月発信させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

メニュー

- 最新メータオニュース
- きょうのゆめ
- ミャンマー／ビルマの文化通信
- メータオ・クリニック支援の会(JAM)よりささやかなプレゼント

■ 最新メータオニュース



写真上：パースデーケーキの火を消すシンシア先生

12月6日メータオ・クリニック院長であるシンシア医師の誕生日会がクリニックで壮大に催されました。シンシア先生はこの度49歳の誕生日を迎えられました。メータオ・クリニックで働くスタッフから、クリニックで入院する患者さん、ミャンマー／ビルマ人移民自治学校で勉強をする学生さん等多くの方がこの誕生日会に出席されました。

誕生日会ではシンシアのメータオスタッフから誕生日お祝いの言葉のスピーチがされ、また最後に先生自身もスピーチを行われました。「メータオ・クリニックを設立したのが29歳の時で、それからあっという間に時が過ぎました。」と述べられました。

誕生日会の後では近くの学校の生徒と、またメータオ・クリニックで働くカレン族のスタッフによるカレン族ダンスの披露がありました。シンシア先生はカレン族出身でもあります。カレン族のダンスは太鼓と歌だけでリズムよく踊ります。シンシア先生



写真左：メータ
オ・クリニックス
タッフによるカレ
ン族ダンス

のみならず患者さんからクリニックスタッフまで多くの人とその踊りを楽しんでいました。

■ きょうのゆめ

クリニックでは学校保健活動を中心に 54 校のマイグラントスクール(ビルマ人の移民学校)を運営・管理しています。JAM の活動のひとつとしてそれらの学校を対象とした学校保健の活動を行っています。現地のスタッフがそれらの学校を訪れ、そこで勉強している子どもたちの声を毎月発信していきたいと思います。

今月はロッキー・マウンテン(Rocky Mountain)と呼ばれる学校で勉強するジョンオー君。メソットから北上し車で30分ほどかかるその学校には中学校、小学校、幼稚園、孤児院があります。学校は岩石と森林で囲まれています。生徒数は168名です。



写真左①：学校の裏の
岩石と森林で囲まれ
た山

写真左②：木とわら、
枯葉で作られた教室

そこでお父さん、お母さん、また4人のお姉さんとともに6人家族で暮らすジョンオー君15歳。ジョンオー君は10年前に家族とともにタイ側で暮らし始め、このロッキー・マウンテンで幼稚園から今に至るまで10年も勉強しています。そんなジョンオー君の将来の夢は車を作るエンジニアになることです。「家族とともにミャンマー／ビルマで暮らしていたときのほうが僕も家族もとても幸せだった。エンジニアになってお金を稼ぎ家族とともにまたミャンマー／ビルマで暮らしたい。」とまっすぐの瞳で現地スタッフのインタビューに答えてくれました。



写真上：ジョンオー君15歳

